

令和2年度第2回 幡多地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和3年2月8日（月） 14：30～16：30

場所：三原村農業構造改善センター 多目的ホール

出席：委員27名中、22名が出席（代理出席2名含む）

議事：（1）地域アクションプランについて

- 1) 幡多地域アクションプランの進捗状況等
- 2) 幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等

（2）産業成長戦略について

- 1) 第4期産業振興計画 ver.2の強化のポイント（案）
- 2) 観光振興の取り組み
- 3) 移住促進の取り組み

議事（1）（2）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要

（1）地域アクションプランについて

（中脇委員）

地域アクションプランについて説明を受けたが、開発・磨き上げ等に取り組んだ実際の製品を見てみたい。そのほうが、「幡多地域の自慢できるもの」として、この会議以外の場所でも紹介することができる。

今年度の第1回幡多地域アクションプランフォローアップ会議であった三原村の甘酒の試飲のようなものをお願いしたい。

（松村地域産業振興監）

一昨年までは産業振興計画のシンポジウムを県内3～4カ所で開催し、会場に主な製品を展示していたが、昨年・今年と中止になっており、見ていただく機会がなくなっている。幡多地域本部の入り口前にも主な製品を展示しているが、試食できる場所がない。地域アクションプランフォローアップ会議は各市町村の持ち回りで開催しているので、地元のもの「見て、味わえる」ようなやり方を検討したい。

また、四万十市に新しい直販所がオープンする予定であり、そこで展示ができないか、本日欠席している長尾委員にも後日相談したい。

本日は三原村のどぶろくの販売を予定しているため、実際に見て、味わっていただきたい。

（中平（正）座長）

買って帰ってもらえれば地域貢献にも繋がるので、次回の会議でも展示・試食ができるようにすると良いのではないかな。

（2）産業成長戦略について

（福田委員）

資料中、「会場レイアウト図」に委員の名前の記載はあるが、県職員の名前の記載がない。発言に責任を持つという意味でも、名前の記載があると大変助かる。

(松村地域産業振興監)

次回から改善させていただく。

(立田委員)

産業振興計画の関係で、事業者の売上げ等に新型コロナウイルスの影響が出ている話があったが、業者との取引や一般消費者向けの Web 販売など、それぞれの落ち込みの分析はあるのか。また、新型コロナウイルスの影響により生活様式が変化しているため、Web 販売を増やす計画はあるのか。

(計画推進課 久米補佐)

コロナへの対応については、特別経済対策プロジェクトチームを設置しており、全庁横断的なメンバーで定期的に会を開き、各業界団体への聞き取り状況の確認を行っている。その中で、事業者によって様々だとは思いますが、例えば対面でのやり取りが難しくWEBに切り替えていかないといけないといったお話などがあり、分析とまではなかなか至ってないところはあるかもしれないが、そういった事業者からの御要望に対して支援策を用意するという対応を行っている。事業者からのニーズをできるだけ拾い上げて、必要な手立てを講じていくということを、これからも繰り返しやっていかないといけないと考えている。

(小松(昭)委員)

新型コロナの影響で観光客が落ち込む想定だと思うが、逆に全国の中で高知が有利な部分はある。そういった部分を見据えた計画づくりが必要。

(観光政策課 澤田課長)

委員のご指摘どおり、コロナを踏まえた展開を考えていかなければならない。自然の多い四十・足摺エリアは特に観光客が見込めるエリアである。県では令和3年度に大型のキャンペーンを予定しているところである。全国にPRしていくことで、高知県に多くの方に来ていただきたいと考えている。新しい生活様式への対応という面では、観光・宿泊の受入体制も支援していきたい。

(森田委員)

黒潮町は特に合宿の中止等でスポーツツーリズムによる県外学生の誘客が厳しい状況となっている。今後は自宅から1時間圏内の近場へ旅行をする「マイクロツーリズム」を拡げていかなければならないと考えている。

昨年6月のお泊まりキャンペーンは非常に効果が高かった。GoTo キャンペーン再開の見通しが立たないのであれば、高知県内での旅行の支援を再び検討していただきたい。また、以前、県に社会保険料を補助してもらったことがあるため、雇用維持のためにも事業者への支援として再び社会保険料補助を検討していただきたい。

(観光政策課 澤田課長)

高知県観光リカバリー戦略として3月に県内で宿泊していただいた方向けに「高知でお泊まりキャンペーン」を考えている。

社会保険料については県の商工労働部が所管になるため、本日も意見をいただいた内容を伝えさせていただく。

(以上)